

2026年8月期 国内事業 月次売上速報
(2025年9月1日～2026年8月31日)

2026/9/14
フェスタリアホールディングス株式会社

■売上高推移

(単位：％)

		前 期 比														
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	合計
全店（※1）	売上高	94.8	111.7	102.9	105.4	115.3	107.4	106.1	122.9	121.9	118.3	100.0	113.6	109.1	114.3	109.8
	客数	89.9	97.7	99.8	95.1	101.6	100.2	97.2	105.6	109.4	109.8	97.5	103.1	99.9	104.2	100.3
	客単価	105.5	114.3	103.1	110.8	113.5	107.2	109.1	116.4	111.4	107.7	102.5	110.2	109.2	109.7	109.5
既存店（※2）	売上高	94.6	110.8	101.9	104.9	112.8	107.6	104.8	120.0	118.6	118.6	97.8	108.3	102.0	110.9	106.9
	客数	90.0	95.3	97.1	92.9	99.5	98.3	94.9	100.6	107.3	103.2	92.1	98.6	94.4	99.4	96.3
	客単価	105.1	116.3	105.0	112.9	113.4	109.4	110.4	119.3	110.6	114.9	106.2	109.9	108.0	111.6	111.0

（※1）全店：国内直営店+EC+富裕層ビジネス
（※2）既存店：前期期首から期末まで通年で稼働した国内直営店

■月次動向（8月度）

【販売情報】
・8月の既存店売上高は、主力商品「Wish upon a star®」のエントリーモデルが引き続き好調に推移したことに加え、ブライダルも客単価の上昇により増収となり、前年を上回りました。
また、大型催事では、天候不順の影響により来場者数が計画を下回ったものの、客単価が大幅に上昇したことで催事売上は伸長し、増収に寄与しました。
・EC売上は、自社ECサイト「festaria ONLINE SHOP」におけるキャンペーン施策が奏功し、前年を上回りました。
・富裕層ビジネスは、複数の催事への積極的な参画を通じて販売機会の拡大を図ったことに加え、希少性の高い商材の販売が堅調に推移したことから、前年を上回りました。
【名簿数の状況】
・8月末時点の登録名簿数は45.1万人となり、前期末（8月末）の38.8万人から6.3万人増加し、前期末比16.2%の増加となりました。

◆店舗数推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期平均稼働店舗数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期平均稼働店舗数	通期平均稼働店舗数
国内直営店舗数	当期	76	75	76	76	75	75	76	75	78	78	78	78	78	78	77
	前期	77	77	77	77	77	75	77	75	75	75	75	75	75	75	76

◆出退店・改装情報（8月度）

8月度における出店、退店および店舗改装はありません。
なお、イオンモール熊本店については、施設の被害状況等を踏まえ、現時点で営業再開の見通しは立っておらず、今後の対応について関係各所と協議を進めております。